

小須戸小学校だより

NO. 1

令和4年 4月28日（木） 発行



「子どもも笑顔、教職員も笑顔、保護者・地域も笑顔になる学校に」

校長 河野 健一

2022 年、今年度もコロナ禍での教育活動がスタートしました。マスクの着用で顔を見る機会が減り、表情から相手の気持ちを読み取ることが難しい時代です。コロナの収束も見えない中で、不安や心配事がある人も多いことでしょう。そんな今だからこそ、笑顔になれる活動や行動が大切になると思います。

そこで、今年度から、コミュニティ・スクール〔略称：CS〕（学校運営協議会制度）が始まります。この制度の目的は「地域とともに学校運営をしていく」ことにあります。これを活用し、小須戸小学校に関わるすべての人が笑顔になれる取組をします。

まずは、保護者、地域、学校が子どもたちにどのような資質や能力を育むべきなのか、そしてどのような活動が必要なのかについて、ともに知恵を出し合い、肯定的で未来志向の話し合いを行い、目指すべき学校運営の基本方針を共有しています。

次に、社会の変化に目を向け、地域の課題と学校教育が目指す学習活動を組織的かつ計画的に結びつけます。そこで、子どもたちは学校で学んだことを活用し、地域の課題を地域の住民とともに考える姿や自ら問いを見つけ、よりよい解を見出そうと考え抜く姿がみられるようになっていきます。

さらに、保護者、地域、学校が一体となって未来の担い手を育てるという理念を共有し、子どもの豊かな成長のために、それぞれが主体的に取り組んでいきます。

世界はどんどん変わっていきます。答えのはっきりしない時代だからこそ、「よく考え助け合う」と言う小須戸小学校の教育目標が大切だと感じます。

ご協力ご支援のほどよろしくお願いします。

